

県境不法投棄現場の跡地利用検討に 関するアンケート調査結果

八戸工業大学
環境建設工学科 教授 福士 憲一
准教授 金子 賢治
元HRC任期付研究員 矢澤 一樹

1

調査目的

1. 原状回復・環境再生・地域活性化に関する住民意識調査を実施
→ 周辺住民が望む撤去作業終了後の跡地利用案を大まかに把握（自由記述形式、周辺住民を対象）
2. 代表的で実現性のある跡地利用計画案を作成し、費用・利点等も提示し、跡地利用選好調査を実施
→ 住民の望む跡地利用計画について検討（5段階選択式、周辺住民と両県代表市民を対象）

2

1. 跡地利用案の概要調査

- ・アンケート対象：現場周辺の住民、郵送
青森県田子町300名 回収率10.3%
岩手県二戸市300名 回収率14.7%
回収数計 76名
- ・アンケート内容：自由記述形式（住民意識に与える行政の対応の影響分析調査の一環として実施）
「県境不法投棄現場の原状回復・環境再生・地域活性化に関してご意見等ございましたら、以下にご記入をお願いします。」

3

・周辺住民の跡地利用に関する主な意見

- 自然復元
 - ・広葉樹の山。きれいな水と水害のない川 ・現場は山林に
 - ・落葉広葉樹自然林に再生 ・美しい自然を戻し子孫に ・緑化自然公園
- 処理施設
 - ・産廃処理工場を移動する施策を ・地元雇用と地域活性化に
 - ・現地に処理施設を建て回復処理を。永続的に廃業も
- 啓発施設
 - ・地元も常に関心を持つ工夫 ・森林公園とし「環境破壊の戒め」の施設
- 複合施設
 - ・環境改善への指針となるクリーンセンター等
 - ・ミニゴルフ場等。自然と融合しながら健康増進を
- その他の復旧後に対する意見
 - ・安心して住める町に ・住民の健康に害のないように。
 - ・風評被害等農業に影響が無いように ・再生は両県一体（現場はひとつ）
 - ・負の遺産を負い目にする事なく、他県にこの経験を活かし伝える
 - ・「我が県は環境の先進県」と言える施策、情報発信を

4

2. 跡地利用選好調査

- ・跡地利用計画案の作成
- 計画案 条件（m²またはm³、両県民1人あたりの費用）
- (a)更地：面積27万、費用0円
- (b)植林：面積27万、費用20円
- (c)中規模公益廃棄物処理施設：
面積9万、費用530円、容積12.7万
- (d)小規模公益廃棄物処理施設
面積5.2万、費用250円、容積6.9万
- (e)小規模環境教育施設：
面積0.2万、費用250円
- (f)中規模環境教育施設：
面積0.5万、費用400円
- (g)複合施設 廃棄物処理場と環境教育施設等の組み合わせ
複合施設A=(c)+(e)：廃棄物処理(中)+環境教育(小)
複合施設B=(d)+(e)：廃棄物処理(小)+環境教育(小)
複合施設C=(c)+(f)：廃棄物処理(中)+環境教育(中)
複合施設D=(d)+(f)：廃棄物処理(小)+環境教育(中)

5

・アンケート調査の概要

対象：現場周辺住民（田子町250、二戸市340） 590名
両県を代表する市の住民（青森市、八戸市、盛岡市）各600名
合計2390名に郵送 → 回収率25%（601名）

質問内容の例：5段階選択式、他に自由記述も

1-1 下記の跡地利用案に対してどのように感じますが、あてはまるものに○を付けてお答え下さい。

(a) 更地（面積27万㎡ 費用負担0円）

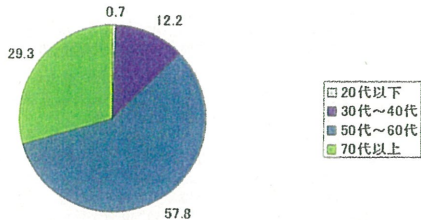
不法投棄廃棄物の全量撤去と処理施設の撤去後、周囲地に植樹をして更地にしそのまま放置するとしまり、費用がほとんどかからず、時間をかけて自然に回復すると考えられます。ただし、地域住民に対するメリットは何かありませんか。

1 非常に良い 2 良い 3 普通 4 悪い 5 非常に悪い 6 わからない

6

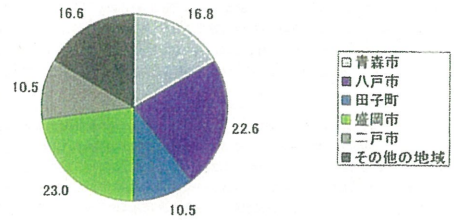
・回答者の属性

年齢



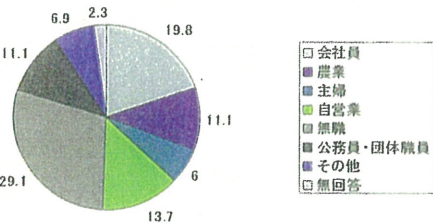
7

居住地



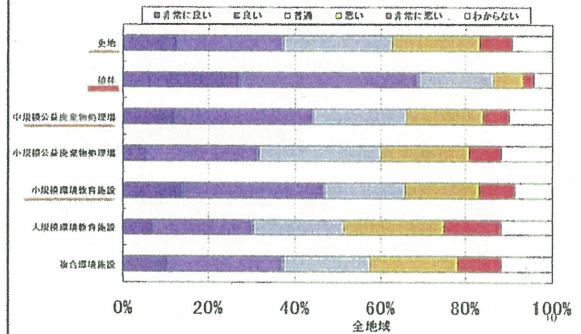
8

職業

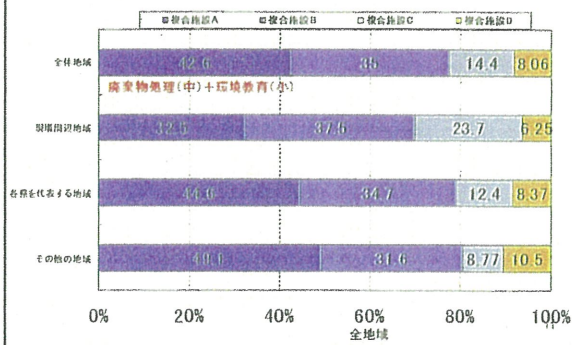


9

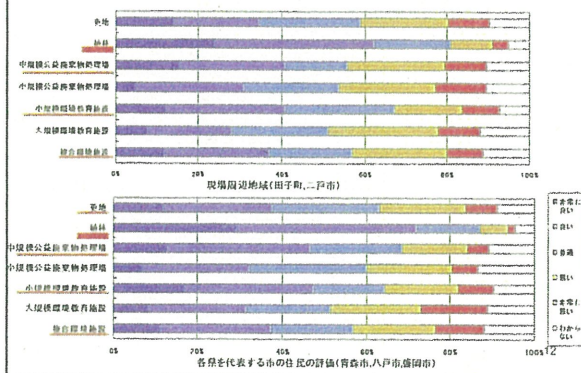
・跡地利用計画に対する回答者全体の評価

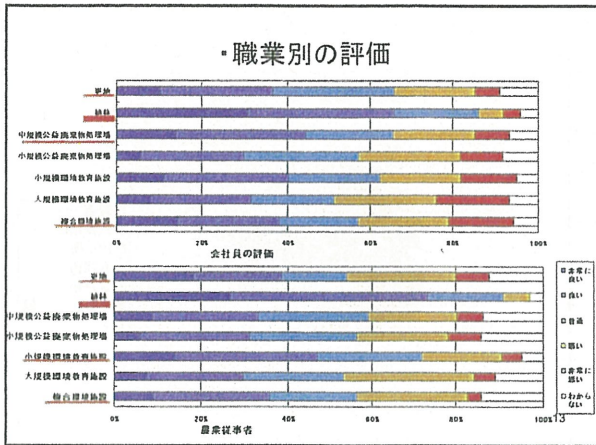


・複合施設に対する回答者全体の評価



・地域別の評価





- ### ・自由記述欄への意見
- 1) 跡地利用計画に関する意見
 - ・廃棄物処理施設を建設すべきではない
 - ・環境教育施設を運営しても客が来るのは初めだけ
 - ・何もしなくて良い
 - ・健康・福祉・レクリエーション等、子供たちが利用できる集会所施設を
 - ・廃棄物処理で発生する熱を利用した生産施設を

* 否定的意見では、廃棄物処理施設に対するものが最多
建設には4割以上が賛成だが、強い反対意見があることも事実
住民との対話・合意形成が重要となる
 - 2) 原状回復・環境再生・地域活性化に関する意見
 - ・処理施設等を建設。周辺住民の雇用を
 - ・跡地利用と地域活性化は離して考えるべき
 - ・緑地化・自然回復など次世代に自然を残すべき
 - ・複合環境施設を建設。地域活性化を
 - ・農業者の安心を。安全な農作物を生産・販売できる環境を
 - ・地域を越えた交流の場に

- ### 3. まとめ
- 1) 周辺住民と各県代表市民には様々な意見あり。植林をして元の状態に復元するといった意見が最も多い。
 - 2) ただし、廃棄物処理施設や教育施設などの施設を建設することに肯定的な人も多い。
 - 3) 施設を建設する場合、中規模廃棄物処理施設と小規模環境教育施設を併設し、周囲に植林を施す案も受け入れられる可能性がある。
 - 4) 各県代表市民は、現場から離れているにもかかわらず、不法投棄問題を県や地域全体のものとして捉えている。また、ある程度の費用負担があっても、現場再生に協力的であること、跡地に処理施設を建設することに肯定的な意見も多い。